

6年 車椅子バスケット

6月2日、2020 東京パラリンピック日本代表女子ヘッドコーチ の岩佐義明監督とお二人の選手（向後選手、齋藤選手）に来校いただき車椅子バスケット体験を行いました。

はじめに、車椅子バスケット用の車椅子の作りや車椅子バスケットのルールについて教わりました。車輪が外に傾いていること、後ろに倒れないようになっていること、下半身をしっかりと固定すること、選手の状態によって個々にポイントがあり、ゲームに出る時にはそのポイントの合計が決まっていることなど教えていただきました。



次に、実際にバスケット用の車椅子に乗せてもらっての体験です。

実際に移動するだけでなく、全員が選手からパスをもらってシュートするところまでを行いました。





その後、選手1名対6年生5名でゲームをしました。





当然, 全くかないません。もう一人の選手に 6 年生チームに入ってもらい, なんとかシュートを決めることができました。



試合の後は、肘タッチで互いの健闘をたたえ合います。

試合の後には質問タイムです。車椅子バスケットを始めたきっかけや、車椅子バスケットをして良かったことなど、いろいろな質問に答えていただきました。

最後に6年生から今日のお礼と、これからも応援することをお伝えし、記念撮影をしました。



世界レベル・日本レベルでの戦いを経験した監督・選手のみなさんと触れあうとても貴重な経験となりました。

岩佐監督、向後選手、齋藤選手 ありがとうございました。